

平成22年11月12日

北海道農業者サロン
会員各位

北海道農業者サロン
理事長 喜多 俊晴

北海道農業者サロン冬期講習会開催について

8月7日のくそ暑い夏の終日、池田町 鈴木敏一君らの協力で夏期講習会をこなし、その報告書も未定稿のまま、秋を掠めてピリッと冷え込む冬に入りました。

11月9日には江別市 鶴見農園にて、畑の苗作りに必須な燻炭製造技術の習得を目的に、バラの育種改良の専門家 洞爺湖町 糸川偉昭君の指導を得て、概ね21名の会員参加で講習会が開催され、雨の降るなかでしたがとても楽しい終日でした。

美唄市 内山裕史君らの「こせがれの会」の仲間達を見ていると、サロンの若い時代を彷彿させられます。

大人数での講習となり鶴見一家にはとってもお世話になりました。感謝！です。

勢いを借りて期初計画に盛られた冬期講習会「立ち止まって、深い呼吸を！」を企画しました。

講演の一本は、小生とはひょんな付き合いを続けているベルマ・アマン君、北インドベナレス出身の在日のインド青年です。

この春担当した札幌学院大学での中小企業論、最終講義に講演を依頼したのですが、学生達にひとこと「君らの知的レベルはインドの小学5年生かな、もっと世界を見ろ！アメリカにアメリカ人がいると思うか、いまのアメリカは中国人とインド人の国だよ！」などまったくいいこと言ってくれます。

勿論、演題は「不思議の国 インドから」です。

もう一本は、10月中頃に群馬「日野高山 子王山城 — 伊香保温泉 — 榛名神社」を旅する機会があり、この折に語り合った群馬県藤岡市の林家 坂本祐一君にお願いしました。

子王山城 日野高山二千階段の坂本君宅には、過ぐる日、池田町 鈴木敏一君や当時のサロン事務局 中野由紀子君らと訪れ、山頂域での天水生活と彼らの守るもの、なにより霞に浮いて眼下に広がる森林域に唾然とし、小生の内では墓に入る前に再訪したい場所の一つとなっていました。

子王山城は戦国期 関東管領 上杉氏の居城であった 平井城の支城で、歴史書には1552年 長尾喜平次（上杉景勝）が北条氏に奪われた平井城奪還のため布陣（喜平次の城を別称）の記録があります。

築城は平 将門家臣 柴崎景家又は天慶の乱期の多古政兼ともされ、平安時代に砦は築かれていたと日本城郭大系（新人物往来社）などにあります。

坂本君らの一族は上杉氏家臣団として砦や狼煙台の守りにあったのですね。

子王山（鳳凰山）は標高550m、坂本君らが24年かけて下日野から1,600段、高山から400段の階段を再現し「日野高山二千階段」と呼称されます。

丸太を埋め込んだ急傾斜の階段は一気に登り切れず、攻撃に対応して石を落とす堀切と呼ばれる腰部などで息継ぎ、喘ぎながら、大学同期6名のうち完登は3名でした。

喬木の定着や生育促進を図るために混生させる灌木のうち、特に根粒菌（リゾビウム）、放線菌（フランキア）、糸状菌（フィアロセファラ）と共にある肥料木たち。

菌糸を根の細胞に入れてリンを供給し糖を受ける内生菌根菌 アズキケカビ（VA菌根菌）、根を菌糸で包み皮層細胞間隙に入る外生菌根菌としての担子菌や真菌など、寄生的であったり共生的であったり、そんな森の囁きを学問としてではなく体験として語ってもらえればと思います。

演題は「自然のリズムに生きる」としました。樹の水分が少なくなる秋から冬が稼ぎ時の空師、打ち合わせはぎりぎり前夜に恵庭で行います。

組みしたい会員は、小生に連絡ください。

本会の新たな事務局、ホームページの進行度合いや規約など懸案事項、来期の活動計画などを含め、同日予定する拡大幹事会で画策します。

より多くの会員の出席と密度の高い講習会となることを祈念して下記ご案内とします。

北海道農業者サロン 顧問 田中 正夫

当講習会終了後、講師の坂本祐一君を伴って洞爺湖温泉「ぐでんぐでんへブンツアー（1泊2日）」に参加予定です。

参加希望があれば、とっても歓迎します。お申込みを！

ツアー代金：9,500円（宿泊費、会食費、二次会費用込み）

宿泊先：「山水ホテル」〒049-5721 虻田郡虻田町洞爺湖温泉町 78

TEL0142-75-2361 FAX 0142-75-2816

会食場所：「すし処 あい川」

二次会場：「カラオケバー ルミー」

事務局代行 坂井明美 (株)イーストウエスト
Tel : 03-3288-1888 Fax : 03-3288-2555

冬期講習会実行委員 岩崎 亜紀
坂井 明美

記

北海道農業者サロン冬期講習会「立ち止まって、深い呼吸を！」

日時	12月8日(水)	13:00~	受付開始
場所	KKRホテル札幌(札幌共済会館) http://www.kkr.or.jp/hotel/modules/gnavi/index.php?lid=2 〒060-0004 札幌市中央区北4条西5-1 TEL:011-231-6711 FAX:011-231-6713		
講演	13:30~17:30 演題「自然のリズムに生きる」 坂本 祐一氏 演題「不思議の国 インドから」 ベルマ アマン氏		
懇親会	18:00~20:00	KKRホテル札幌	
二次会	20:00~22:00	KKRホテル札幌	
	22:00		了

日時	12月9日(木)	09:00~12:00	拡大幹事会
			KKRホテル札幌(札幌共済会館)
		12:00	了

拡大幹事会終了後、昼食は「インドカレー アマン」にて。
昼食後「ぐでんぐでんへブンツアー」参加者は洞爺湖温泉へ。

参加費用	12月8日	講習会会場費・宿泊会食費など	15,000円
		講習会, 会食のみ参加の場合	9,000円
		講習会のみ参加の場合	3,000円

※二次会参加費用は、別途3,000円徴収させていただきます。

二次会は、別室にてサトイチ, オトブル, 飲み放題をご用意しております。

※坂本祐一君の前後泊の旅費・宿泊費、ベルマ・アマン君はハイヤー料金10,000円など講師費用は事務局経費より出費。

※講師謝礼は紋別市 喜多俊晴君の手配により道産海産物を直接送付。
経費は事務局負担の予定。

以上

Fax : 03-3288-2555

(株)イーストウエスト東京事務所 坂井 明美 あて

冬期講習会参加申込書 (☑チェックをお願いします。)

会員名 : _____

■参加する

講習会, 懇親会, 二次会に参加する (下記、宿泊希望に☑願います。)

講習会, 懇親会に参加する (下記、宿泊希望に☑願います。)

講習会のみ参加する

洞爺湖温泉「ぐでんぐでんへブンツアー」に参加する

同行参加者名 : _____

同行参加者名 : _____

同行参加者名 : _____

連絡先 : _____

12月8日(水) KKR ホテル札幌宿泊希望 あり なし

(☑ありの場合は、お部屋の希望を☑願います。) シングル ツイン ダブル

参加しない

講師 坂本祐一君の前泊ホテルは「恵庭ステーションホテル」です。
12/7の講習会事前打ち合せ参加希望の方は、顧問 田中までご連絡ください。

参加申込書は、**11月22日(月)までに**(株)イーストウエスト東京事務所へ
FAX 願います。なお、本文の責任は、恵庭市 田中正夫です。

講師略歴

坂本 祐一氏

講演内容「自然のリズムに生きる」

昭和22年、群馬県（藤岡市高山）生まれ63歳。

昭和45年、明治大学農学部卒業後、家業の林業に従事し、作業道の広巾、高密度化による注文材生産を行う。

平成11年、林業不況により空師（高所伐採作業）に。

現在、群馬県林業研究グループ連絡協議会副会長ならびに、群馬県指導林家。

※空師（そらし）とは

高さ20mを超える高い木に登り、枝おろしや伐採をする職人を呼ぶ。

命綱を腰に巻いて木に登り、腰に吊るしたチェーンソー枝を次々に伐り落す。

伐採後の枝の材木としての価値を決めるのもその腕にかかる。

危険が伴い熟練を要する為、後継者は少なく職人の数は年々減っている。

ベルマ アマン氏

講演内容「不思議の国 インドから」

北インド・ベナレス出身。北インド ベナレス大学工学部にてマテリアル・エンジニアリング（材料工学）を専攻。卒業後、日本語専門学校に在籍して日本語習得後、兄ベルマ・ビジャイ氏が経営する旅行会社「BRANCH-NANDI TOUR'S」に併設された運輸会社（タクシー・バス等）「MAHADEV NANDI CORPORATION」を約20名の社員を抱えて経営している。

妻の出産もあり、日本に居住し、インドカレーの店「アマン」の経営にもあたる。

札幌市を中心としたカレー専門店やレストランに年間10,000千円程のスパイスを斡旋販売してきたが、平成22年初めから新規事業を立ち上げ、「INDIAN SPICE AMAN」として年間1億円のスパイスやベナレスを中心とした輸入雑貨の販売を見込む計画を立案、現在準備に余念がない。

※ベナレスはガンジス川中流域（ヒンドスタン平原）に位置する100万弱の中核都市。ヴァラナシとも呼称される。

本格スパイシーカレー「インドカレー アマン」
<http://amancurry.web.fc2.com/index.html>

札幌市南区石山東3丁目7-24

TEL：011-593-4111